

国立国語研究所学術情報リポジトリ

「外来語」言い換え提案： 分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉 遣いの工夫, 第2回 中間発表

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所「外来語」委員会 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002290

第2回 「外来語」言い換え提案

一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫一

(中間発表)

平成15年8月5日

国立国語研究所「外来語」委員会

目 次

第2回「外来語」言い換え提案（中間発表）	1
第2回中間発表で取り上げた語	2
凡例	4
語別の提案	6
参考資料	58
委員名簿	

第2回 「外来語」言い換え提案 一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫— (中間発表)

○ 「外来語」言い換え提案

国立国語研究所「外来語」委員会では、本年4月に第1回「外来語」言い換え提案の最終発表を行いました。これは、国の省庁の行政白書や新聞など公共性の高いものを対象として、一般に分かりにくい外来語が使われていないか、使われていれば、そのような外来語に対してどのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか、また、外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に提案したものです。(第1回提案の「趣旨・経緯」、および「資料の利用に関する留意事項」の詳細については、この発表資料の末尾に付した「参考資料」をご覧ください。)

○ 第2回の検討対象語52語について中間発表を行います

「外来語」委員会では、第1回提案の基本的な姿勢をそのまま引き継ぎながら、新たな検討対象語52語について検討を重ねてきました。この中には、第1回提案で検討対象の候補となった語のうち、言い換え語の提案まで検討を進めることのできなかった11語も含まれています。

今回は、事前に検討対象の候補語を国立国語研究所のホームページ上で公開し、広く一般からも電子メール等によって言い換え語の提案をいただくことができました。いただいた提案は、中間発表に至るまでのさまざまな段階で取り上げられ、検討の中に生かされています。また、第1回と同様に、文化庁国語課の協力により実施した外来語の定着度に関する全国調査の結果も活用することができました。

○ さらに検討を重ねて第2回の最終発表を行います

「外来語」委員会では、第2回の最終発表を本年10月に予定しています。最終発表では、この中間発表に対していただいた御意見をもとにさらに検討を重ね、より一層充実した内容の提案にすることを目指しています。

また、第2回最終発表の後も、第3回、第4回と半年に1回程度の頻度で、中間発表、最終発表を行いたいと考えています。

第2回中間発表で取り上げた語

	頁		頁
アーカイブ archive	6	スクーリング schooling	27
アイデンティティ identity	7	セーフティーネット safety net	28
イノベーション innovation	8	セクター sector	29
インセンティブ incentive	9	タスク task	30
インフラ infrastructure (省略)	10	タスクフォース task force	31
エンパワーメント empowerment	11	ダンピング dumping	32
エンフォースメント enforcement	12	データベース database	33
オブザーバー observer	13	トレンド trend	34
オンライン online	14	ノーマライゼーション normalization	35
キャッチアップ catch-up	15	バーチャル virtual	36
グランドデザイン grand design	16	パートナーシップ partnership	37
グローバリゼーション globalization	17	バックアップ backup	38
グローバル global	18	ビジョン vision	39
ケーススタディー case study	19	フォーラム forum	40
コア core	20	フレームワーク framework	41
コミュニケ communiqué フランス語	21	ベンチャー venture	42
コミュニティ community	22	ボーダーレス borderless	43
コラボレーション collaboration	23	ポテンシャル potential	44
コンセプト concept	24	マーケティング marketing	45
サマリー summary	25	マクロ macro	46
シミュレーション simulation	26	マネジメント management	47

マルチメディア	multimedia	4 8	ユビキタス	ubiquitous	5 3	
ミスマッチ	mismatch	4 9	ライブラリー	library	5 4	
メセナ	mécénat	フランス語	5 0	リアルタイム	real time	5 5
モニタリング	monitoring	5 1	ログイン	log-in	5 6	
モラルハザード	moral hazard	5 2	ワークショップ	workshop	5 7	

* 外来語の表記法は、規範を示すものではない。

* 外国語から直接取り入れられた語は、原語での綴りと言語名を示す。

* 言語名の記載がないものは、原語は英語。

* 本提案での言い換え語は、あくまでも外来語に対するものであり、原語の意味用法をそのまま反映しているわけではない。

凡 例

1. 対象とした外来語を五十音順に掲げる。

2. 語ごとに提示する情報の構成は次の通りである。

- | | | |
|--------------|---|-------------|
| • 外来語 | { | すべての語について提示 |
| • 理解度 | | |
| • 言い換え語 | { | 必要に応じて提示 |
| • 用例 | | |
| • 意味説明 | | |
| • 手引き | | |
| • その他の言い換え語例 | | |
| • 複合語例 | } | |

3. 外来語 には見出し語形を掲げる。ただし、これによって表記の規範を示すものではない。

4. 理解度 は外来語の右側に、国民各層に対する調査（参考資料「資料の利用に関する留意事項」61 ページ参照）の結果に基づいて、語の理解度の段階を示す。その語の「意味が分かる」と答えた人の比率を、星印を用いて次のように表示する。日本人全体と、60 歳以上に分けて掲げる。

- | | |
|------|-------------|
| ★☆☆☆ | 25%未満 |
| ★★☆☆ | 25%以上 50%未満 |
| ★★★☆ | 50%以上 75%未満 |
| ★★★★ | 75%以上 |

5. 言い換え語 は、外来語を言い換えるのにもっとも適當だと考えられる語を掲げる。意味区分のあるものは、(1) (2) …と区分し、区分ごとに言い換え語を掲げる。

6. **用例**は、外来語の使用例の典型的なものについて、**言い換え語**で言い換えた形を掲げる。使用例は、新聞または白書の実例から採る。
7. **意味説明**は、意味や概念を簡潔明瞭に提示し、括弧書き・注記・文中展開などの方法で、外来語に対する説明として用いることのできる形で掲げる。
8. **手引き**は、**言い換え語**欄に言い換え語を並記した場合の使い分けの目安や**その他の言い換え語例**を使うべき場合などについて解説する。また、その外来語や、言い換えにあたっての、留意点を掲げる。
9. **その他の言い換え語例**は、**言い換え語**に示した語以外で、文脈や場面により、最適となる言い換え語がある場合、3語程度まで掲げる。それらの使い分けなどが問題になる場合は、**手引き**に記す。
10. **複合語例**は、その外来語を含んだ複合語で、**言い換え語**に示した語を機械的に当てはめることができないものにつき、具体的な言い換え語とともに掲げる。

○アーカイブ

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

記録保存館 保存記録

用例

委員会は資料の保存と活用の両面から、京都でどのようなアーカイブが最適かを来春をめどに決める。 (新聞)

西欧各国では十九世紀から、一定年限を経た公文書をアーカイブとして保存し公開する制度を整備してきた。 (新聞)

意味説明

記録や資料を組織的に収集し保存した施設。また、そこに保存されている記録や資料。

手引き

- 画像や映像あるいは物を保存する施設は「資料館」、電子化資料を保存する施設は「電子資料館」と言い換えるのも分かりやすい。公的な書類を保存・管理する施設は、「公文書館」と言い換えるのも適切である。
- 文書や記録以外のものを指す場合は、「資料」と言い換えてよい。
- 「ライブラリー」が、図書や視聴覚資料を収集し閲覧に供するためのものであるのに対して、「アーカイブ」は、記録や電子化資料を収集し保存するためのもの。対象物や収集の目的に応じて、言い換え語を工夫したい。
- 「アーカイブス」「アーカイブズ」の形で用いられることがあるが、「アーカイブ」と同じ意味であり、同様の言い換えが可能である。
- 公的な機関が施設や記録を命名する際には、「アーカイブ」を説明なしでそのまま使わないような配慮が必要である。

その他の言い換え語例

資料館 資料 公文書館

複合語例

デジタルアーカイブ = 電子資料館 電子資料
フィルムアーカイブ = 映画資料館 映画資料

○アイデンティティー

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 自己認識

用例

青少年のアイデンティティーの喪失による思いもかけぬ事件の数々や（新聞）

意味説明

自分を他人とは違うものと考える明確な意識

手引き

- 他のものとは違う独自な性質を指す場合は、「独自性」と言い換えることができる。
- 専門性の高い場面では、専門語としての「自己同一性」を用いることもできる。
- 正確な概念を伝えたい場合は、説明を付与して使うのが望ましい。

その他の言い換え語例

独自性 自己同一性

複合語例

アイデンティティークライシス = 自己認識の危機
ナショナルアイデンティティー = 国家像 国家帰属感
コーポレートアイデンティティー = 企業イメージの統一

○イノベーション

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 技術革新

用例

情報技術の発達は流通業に大きな影響を与えてきた。~~イノベーション~~は今後さらに加速化するだろう。(新聞) 技術革新

意味説明

経済や産業などの発展につながる、技術や仕組みの革新

手引き

○ 仕組みを革新することを指す場合、「経営革新」「事業革新」「金融革新」など、何の仕組みかを具体的に示して言い換えるのが分かりやすい。

その他の言い換え語例

経営革新 革新

○インセンティブ

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 意欲刺激 意欲刺激剤

用例

構造改革の気運が高まり、構造改革の取組みに対するインセンティブが生み出されることである。（新聞）

安心して事業活動に専念できる環境を整えながら、成果に基づく意欲刺激剤インセンティブを与える仕組みを導入した。（新聞）

意味説明

ものごとに取り組む意欲を、報酬を期待させて外側から高める働き。またその報酬。

手引き

- 成果を期待した報酬そのものを指す場合は、「奨励金」などの言い換え語が適切になる場合もある。
- 「モチベーション」が、意欲を内側から高める働きかけであるのに対して、「インセンティブ」は、報酬を期待させた外からの働きかけ。この違いを区別する必要のない場合は、「動機付け」と言い換えることもできる。

その他の言い換え語例

奨励金 動機付け

複合語例

インセンティブ契約 = 出来高契約

○インフラ

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

社会基盤

用例

下水道や土地改良など市民生活にとって大切なインフラの整備に大いに努力された。(新聞)

社会基盤

意味説明

交通、通信、電力、水道、公共施設など、社会や産業の基盤として整備される施設

手引き

- 「インフラストラクチャー」の略。
- 産業の基盤になる施設を指す場合は、「産業基盤」と言い換えるのが適切である。
- 通信や金融など、分野を限定して整備される基盤を指す場合は「通信基盤」「金融基盤」などと、何の基盤であるかを具体的に示して言い換えるのが分かりやすい。

その他の言い換え語例

産業基盤 基盤

○エンパワーメント

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

能力開化 能力強化

用例

開発途上国の女性のエンパワーメントには特に教育が不可欠とされ、会議では開発援助における教育のあり方が議論になった。（新聞）

二十一世紀型の豊かな社会をめざすには、行政は思い切って市民のエンパワーメントをすすめる必要がある。（新聞）

意味説明

本来持っている能力を引き出し、力を与えること

○エンフォースメント

全 体 60 歳 以 上
★★★★★ ★★★★★

言い換え語 法執行

用例

違反行為に対するエンフォースメントを一層強化する必要がある。(新聞)
法 執 行

意味説明

法律などを実際に守らせるようにすること

手引き

○ 力によって平和を強制する場合に使われる際には、「強制」と言い換えるのが適切である。

その他の言い換え語例

執行 強制 強制執行

複合語例

法のエンフォースメント = 法執行
ピースエンフォースメント = 平和強制

○オブザーバー

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★★☆☆☆

言い換え語

(1) 陪席者 (2) 監視員

用例

(1) 日本も米国、カナダとともにオブザーバーとして起草に向けた協議に参加してきた。 (新聞)

(2) 北方四島周辺水域でサンマ漁を予定していた日本漁船が、ロシア側の監視員オブザーバーが乗船していないとして入域できなくなつた問題で (新聞)

意味説明

- (1) 会議などで、議決権はないが、ある目的のために参加を許された人
- (2) 国際間の取り決めなどにおいて、ルールが正しく守られているかを監視する人

手引き

○ (2) は、監視する人の役割に応じて、「監督者」「審判員」などもあわせて、使い分けたい。

その他の言い換え語例

(2) 監督者 審判員

複合語例

- (1) オブザーバー参加 = 陪席参加
- オブザーバー資格 = 陪席資格

○オンライン

全 体 60 歳 以 上
★★★☆☆ ★★★☆☆

言い換え語

回線接続

用例

市町村のコンピューターとオンラインで結び、ホームページで家庭でも各
館の蔵書の検索ができる。（新聞）

意味説明

コンピューターのネットワークに接続され、情報のやりとりができる状態

手引き

- 接続された回線を指す場合は「接続回線」という言い換え語が適切になる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「オンライン」をそのまま用いることにはほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、分かりにくく感じる向きもあり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

接続回線

○キャッチアップ

全 体 60 歳 以上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 追い上げ

用例

官僚主導で欧米先進経済へのキャッチアップを追求してきた日本は（新聞）
追 い 上 げ

意味説明

優位なものに対して、追い上げ、追い付くこと

手引き

- 追い上げること、追い付くことのどちらに重点があるかによって、「追い上げ」「追い付くこと」などを使い分けるのが望ましい。
- 動詞として用いられる場合は、「追い上げる」「追い付く」などと言い換えられる。

その他の言い換え語例

追い付くこと

○グランドデザイン

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 全体構想

用例

2期工事が予算編成時期に繰り返し問題視される背景には、国土交通省が

全 体 構 想
国際空港のグランドデザインを描き切れていないことがある。(新聞)

意味説明

全体を長期的、総合的に見わたした構想

手引き

○ 類語の「マスタープラン」は、「基本計画」と言い換えることができる。

○グローバリゼーション

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 地球規模化

用例

地 球 規 模 化 地 球 規 模 化
グローバリゼーションと反グローバリゼーションという世界的問題も実は
米国基準の国際化問題と重複している部分が大きい。(新聞)

意味説明

ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大すること

手引き

- 「グローバル化」「グローバライゼーション」も「グローバリゼーション」に同じ。
- 「グローバライズする」は「地球規模化する」と言い換えられる。
- 「国際化」は国家を前提としたものであるのに対し、「地球規模化」は国家を前提としておらず、国家を越えて世界を一つにするものである。
- 「グローバリゼーション」は経済に関して言われることが多く、「全世界一体化」の方が分かりやすい場合もある。

その他の言い換え語例

全世界一体化

○グローバル

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

地球規模

用例

湖沼会議は参加者、中でも一般の住民にとって、グローバルな環境問題についてきちんと認識できる格好の機会となる。(新聞)

意味説明

ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大している様子

手引き

- 「グローバルな」には用例に見るように「地球規模の」を当てるとよい。「グローバルに」は「地球規模で」と言い換えられる。
- 「グローバリズム」は「地球主義」「世界主義」と言い換えられる。
- 類語に「ワールドワイド」があり「世界規模」と言い換えられる。
- 地球全体の人類的課題としてとらえ場合は「地球規模」、国家の枠組みを越え、地球上の人間社会すべてに拡大した視点でとらえる場合は「全世界規模」と使い分けることもできる。

その他の言い換え語例

全世界規模 全地球的 全世界的

複合語例

- | | | | | |
|-------------|---|-------|-------|-------|
| グローバル企業 | = | 多国籍企業 | 超国籍企業 | 超国家企業 |
| グローバル経済 | = | 世界経済 | | |
| グローバル社会 | = | 地球社会 | 全世界 | |
| グローバルスタンダード | = | 世界標準 | | |

○ケーススタディー

全 体
★★☆☆☆

60 歳 以 上
★★☆☆☆

言い換え語 事例研究

用例

野党案が法制化された場合、どのような政治活動が規制されるのか、

事例研究
ケーススタディーを試みた。（新聞）

意味説明

ある問題の具体例を詳しく分析して、一般的な真実を導き出す研究方法

○コア

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆

言い換え語

中核

用例

新商品のコアとなる技術の共有にまで踏み込む。(新聞)
中核

意味説明

ものごとの中核となるもの

手引き

- 始業や終業の時間を従業員が自由に選択できる自由勤務時間制（フレックスタイム制）において、必ず就業しなければならない中核となる時間帯を、「コアタイム」という場合があるが、「拘束時間帯」と言い換えることができる。
- 他社には模倣できない、自社の中核的な技術や知識を、「コアコンピタンス」という場合があるが、「得意技術」「得意分野」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例

核 中心

複合語例

コア指數 = 核指數 コアビジネス = 中核事業
コアタイム = 拘束時間帯
コアコンピタンス = 得意技術 得意分野

○コミュニケーション

全 体
★★☆☆☆

60 歳 以 上
★★☆☆☆

言い換え語 共同声明

用例

ニューデリーで開いていた日米欧七カ国や新興市場国など二十カ国・地域の財務相・中央銀行総裁会議は二十三日、^{共同声明}コミュニケーションを採択し閉幕した。(新聞)

意味説明

国際会議での合意内容を表した公式文書

手引き

○ 外交用語として、「声明」「宣言」などと区別する必要のある場合は、「コミュニケーション」を用いて、説明を付与するとよい。

その他の言い換え語例

公式声明

複合語例

共同コミュニケ = 共同声明

○コミュニティー

全 体 60 歳 以 上
★★★★★ ★★★★☆

言い換え語

地域社会 共同体

用例

入居者が一時期に集中したことに伴う高齢化の急速な進行や転出者の増加

等により、~~地域社会~~の活力の低下が懸念される事例も見受けられる。

(白書)

環境負荷の少ない発電に賛同する人の~~コミュニティー~~ができたので (新聞)

意味説明

居住地や関心を共にすることで営まれる共同体

手引き

- 地域性による結びつきの場合は「地域社会」、共通の関心などによる結びつきを重視する場合は「共同体」と言い換えられる。その両方の意味を生かしたい場合は「地域共同体」とすることもできる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「コミュニティー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

地域共同体 地域 社会

複合語例

地域コミュニティー = 地域社会

コミュニティービジネス = 地域事業

コミュニティーバス = 地域バス

コミュニティーフM局 = 地域FM局

コミュニティーセンター = 交流会館

○コラボレーション

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 共同制作

用例

日本画・華道・陶芸という伝統分野で独自の表現を追求している作家3人

共同制作のコラボレーション。(新聞)

意味説明

異分野の者同士が、力を出し合って共同で作り上げること

手引き

○ 事業などを共同で行うことについていう場合は、「共同事業」などと言い換えられる。研究や作業などを行う場合は、「共同研究」「共同作業」でよい。

その他の言い換え語例

共同事業

○コンセプト

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

基本概念

用例

携帯電話を活用した、インターネット網の構築というコンセプトは、ある女性実業家を中心開発されたものです。(白書)

意味説明

事業や開発を進める際の、基本となる考え方

手引き

- これまでになかった理念を求めたり、新しいアイディアを発したりする場合に用いられることがあるが、その場合は、「基本理念」「基本発想」などと言い換えることができる。
- 製品開発における基本理念を示す試作品を指す複合語例は、「試作」を含む複合語で言い換えることができる。

その他の言い換え語例

基本理念 基本発想

複合語例

基本コンセプト = 基本概念

コンセプトカー = 試作車 コンセプトモデル = 試作モデル

○サマリー

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 要約

用例

何よりも有り難かったのは、十九世紀までの本にはよく欄外にサマリーが
つけてあったものです。(新聞)

意味説明

議論や情報などの重要な部分だけを簡潔にまとめたもの

手引き

○ 会議で議長が発表するものは「総括」、市場の状況を知らせるものは「概要」
など、議論や情報の種類によって、言い換え語を使い分けるのが望ましい。

その他の言い換え語例

概要 総括

複合語例

議長サマリー = 議長総括
マーケットサマリー = 市場概要

○シミュレーション

全體 60歳以上
★★★☆☆ ★★☆☆

言い換え語 模擬実験

用例

洪水災害は昨年九月の東海豪雨と庄内川のはんらんを想定した

模擬実験
シミュレーションをもとに算出される最大被害を基準にすることを決めた。
(新聞)

意味説明

計算や模擬装置などにより、現実に起こり得る状況を作り出して行う実験

手引き

- 動詞用法で、「模擬実験する」などの四字熟語が使いにくいと思われる場合は、「模擬実験を行う」「模擬的に実験する」などの言い方にするのもよい。
- 定着に向かっている語だと思われ、「シミュレーション」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

複合語例

シミュレーション実験 = 模擬実験

○スクーリング

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語　　登校授業

用例

基本は経済企画庁の発行するテキストを使っての自宅学習。十二月までの三ヶ月間に登校授業にスクーリングのほか、レポートの提出などを行う。(新聞)

意味説明

通信教育課程で、一定期間義務づけられた、登校による授業

手引き

- 通信教育であることが不明な文脈では、「(通信教育における) 登校授業」などのように、説明を補う方が分かりやすい。
- 学校に登校するものでなく、実地に出向いて教育を受ける形のもの場合は、「実地教育」と言い換えられる。
- 複合語「ホームスクーリング」は、学校に行かないで自宅で教育を受けること。

その他の言い換え語例

実地教育

複合語例

ホームスクーリング = 在宅教育

○セーフティーネット

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 安全網

用例

今日においても社会保障制度の最後のセーフティーネットである生活保護制度がその期待される役割を適切に果たしていけるよう、制度全般について引き続き議論していくこととしている。(白書)

意味説明

経済的な危機に陥っても、最低限の安全を保障してくれる、社会的な制度

手引き

○ 社会保障制度、金融機関破綻の際の預金者保護制度など、一部の危機が全体に及ばないようにするための安全対策を指す。

○セクター

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 部門

用例

これまで非競争的で政府依存度の高かったセクターは、今後抜本的なリス
トラを余儀なくされ、自己責任と自立を迫られることになる。(新聞)

意味説明

産業などにおいて、いくつかに部門を分けたときのひとつ

手引き

- 「第三セクター」という形で目にすることが多いが、必要に応じて「半官半民」「半官半民企業」などと言い換えることができる。
- 航空管制の専門語で「セクター」と言われることがあるが、一般向けには「区域」などと言い換えるか、説明を加えることが望ましい。

その他の言い換え語例

区域

複合語例

第三セクター = 半官半民 半官半民企業

○タスク

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

課題

用例

金銭的な手当だけでなく、社員の達成感を引き出す点を重視している。難
しいと思われるタスクをあえて与え、挑戦してもらう。(新聞)

意味説明

処理しなければならない課題

手引き

○ コンピューター用語としての「タスク」は、「処理」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

処理

複合語例

マルチタスク = 多重処理

○タスクフォース

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 特別作業班

用例

EUはサミットで為替安定の抜本策を探る、EUと先進七か国による

特別作業班
タスクフォースの設置を提案する。(新聞)

意味説明

特定の課題について、短期間で解決をはかるために、特別に編成された集団

手引き

○ 委員会などの中で具体的な作業や調査を行う「ワーキンググループ」は「作業部会」、新しい企画に向かって活動を行う「プロジェクトチーム」は「企画部会」と、言い換えられる。

○ダンピング

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★★★☆

言い換え語

不当廉売

用例

最低制限価格は、入札時に業者の過剰なダンピングを防ぐために設けられ、
下回ると失格になる。(新聞)

意味説明

公正な競争を妨げるほど不当に安い価格で販売すること

手引き

- 外国との貿易で、国内価格より大幅に安く販売することをいう場合が多い。
- 最近になって、以前よりも使われることの少なくなってきた語であり、全体よりも 60 歳以上の方が理解度が高く、分かりにくい外来語のなかでは特異な語である。国民の半数以上が意味の分からぬる語であるので、言い換えや説明が必要になる場合も多い。

○データベース

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 情報集積体

用例

研究テーマを紹介する公的機関のデータベースなどは従来からあったが
(新聞)

意味説明

大量の情報を集め、いつでも検索できるようにしたもの

手引き

- 「情報集積体」で硬く感じられる場合は、「情報庫」と言い換えることもできる。
- コンピューターを使う人にとっては定着した語であるが、コンピューターを使わない人には分かりにくさが残る。必要に応じて、言い換えたり説明を付与したりすることが望まれる。

その他の言い換え語例

情報庫

○トレンド

全 体
★★★☆☆

60歳以上
★★☆☆☆

言い換え語 傾向

用例

いずれの産業においても生産性は改善している一方、雇用減少のトレンドを覆すには至っておらず雇用量は減少している。（白書）

意味説明

ある方向へ変化していく、全体的な傾向

手引き

- 株価や金利などについていう場合は「動向」、風俗やファッショングに関していう場合は「流行」と言い換えた方が分かりやすい場合もある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「トレンド」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

動向 流行

○ノーマライゼーション

全 体
★☆☆☆

60 歳 以 上
★☆☆☆

言い換え語

等生化 福祉環境作り

用例

身障者にとって当たり前の生活を目指すノーマライゼーションが言われて久しいが、子どもたちは自然な感覚でそれを実践している。(新聞)

養護学校との情報交換やノーマライゼーションの理念を教職員や保護者、地域などに浸透させることを提言するものとみられる。(新聞)

意味説明

障害のある人も、一般社会で等しく普通に生活できるようにすること

手引き

- 「ノーマライゼーション」は、これまでの福祉が、障害者を一般社会から引き離して、特別扱いする方向に進みがちであったのに対して、すべての人が、同じ人として普通に生活を送る機会を与えられるべきであるという、新しい福祉の考え方を提唱する語である。また、この考え方にもとづいて、実際に福祉環境をきめ細かく整備していくとする運動にも使われている。
- これから社会の重要な概念になると考えられ、概念の普及のためにも、分かりやすい言い換えや説明が必要である。
- 簡潔に「等生化」と言い換えることができるが、話し言葉では「等しく生きる社会の実現」のような言い換えが、耳で聞いて分かりやすい。
- 実際に社会を変えていく運動を指す場合には、「福祉環境作り」と言い換えることも有効である。
- 正確な概念を伝えたい場合は、説明を付与して使うのが望ましい。
- 障害者だけでなく、高齢者などを含める場合もあるので、説明を付与する場合は、文脈に応じて工夫する必要がある。

その他の言い換え語例

等しく生きる社会の実現

○バーチャル

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ☆☆☆☆

言い換え語 仮想

用例

テレビゲーム、携帯電話の普及などによって、子どもの実生活が分断され、
分断された子どもの世界に、仮想の バーチャルな世界が侵入してきたのである。
(新聞)

意味説明

現実ではない仮想の世界である様子

手引き

- 「バーチャルな」には、用例に見るように「仮想の」を当てるとよい。
- 対語「リアル」は、「現実」と言い換えられる。

その他の言い換え語例

仮想世界

複合語例

バーチャルモール = 仮想商店街
バーチャルリアリティー = 仮想現実

○パートナーシップ

全 体 60 歳 以 上
★★★☆☆

言い換え語 協力関係

用例

92年の国連地球サミットあたりから環境、開発分野では政府とNGOの

協力関係
パートナーシップが確立した。(新聞)

意味説明

共同で何かを行うための、対等な協力関係

手引き

- 企業が共同経営を行う事業体を指す経済の専門語の場合は、「共同経営体」という言い換え語が分かりやすい。
- 定着に向かっている語だと思われ、「パートナーシップ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

共同経営体

複合語例

パートナーシップイニシアティブ = 約束文書

○バックアップ

全 体 60 歳 以 上
★★★☆ ★★★☆

言い換え語

(1) 支援 (2) 控え

用例

(1) 現場の負担を軽減するためには、国による財政的な**バックアップ**がどうしても必要だ。(新聞)

(2) 万一データがなくなっても、**バックアップ**を取っていれば再度書き込んで元通りに使える。(新聞)

意味説明

- (1) 他人の行動を支援すること
- (2) 事故にそなえて控えを作ること。また、その控え。

手引き

- 動詞として使われる場合は、(1) 支援する、(2) 控える、と言い換えることができる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「バックアップ」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、分かりにくく感じる向きもあり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。
- (2) はコンピューターを使う人にとっては定着した語であるが、コンピューターを使わない人には分かりにくさが残る。必要に応じて、言い換えたり説明を付与したりすることが望まれる。

○ビジョン

全 体 60 歳 以 上
★★★☆ ☆

言い換え語 展望

用例

株安の根底には、二十一世紀の日本経済への**ビジョン**が、まだ、明確でないという問題がある。(新聞)

意味説明

将来、望まれるものとして、心に描く展望

手引き

- 映像を映し出す装置を指す場合もあり、「画面」と言い換えることができる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「ビジョン」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

画面

○フォーラム

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★★☆☆☆

言い換え語

公開討論会 交流広場

用例

ナノテクノロジー（超微細技術）の研究者が連携策を話し合う ^{公開討論会} ~~フォーラム~~ が
二月四、五日に札幌市内で開かれる。（新聞）

バードウォッチングから始まった自然・環境の ^{交流広場} ~~フォーラム~~、花やツバメの
^{交流広場} ~~フォーラム~~ があり、（新聞）

意味説明

ひとつのテーマについて参加者が意見を交換する公開討論会

手引き

- 「公開討論会」では硬く感じられる場合は、「広場」「交流広場」「集い」などで言い換えるとよい。
- 会の名称を引用する場合など、言い換え語やその他の言い換え語例に示す語などを用いて、説明を付与するとよい。
- 公的な機関の催しを命名する際には、「フォーラム」を説明なしでそのまま使わないような配慮が必要である。

その他の言い換え語例

広場 集い

○フレームワーク

全 体 60 歳 以 上
★☆☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 枠組み

用例

インフレ目標政策はルールではなく、金融政策を運営する上での
枠組みフレームワークを設定するものである。(新聞)

意味説明

何かを行うときの大本になる基本的な枠組み

○ベンチャー

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語

新興企業

用例

骨の再生医療分野に特化したベンチャーは日本では初めてという。(新聞)
新興企業

意味説明

大企業が行っていない分野で、新たな事業を起こす中小規模の企業

手引き

- 新たに事業を起こすことを指す場合は「起業」、その人を指す場合は「起業家」と言い換えることができる。
- 様々な語と組み合わさって多様な複合語を構成するが、複合語例に示すように、言い換え語には工夫が必要になる。

その他の言い換え語例

起業 起業家

複合語例

ベンチャービジネス = 新興ビジネス
ベンチャー企業 = 新興企業 ベンチャー精神 = 起業精神
ベンチャー支援 = 起業支援
ジョイントベンチャー = 共同企業体
ベンチャーキャピタル = 起業投資 起業投資会社

○ボーダーレス

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語 無境界 脱境界

用例

政党としての独自性などという言葉が聞かれなくなるほど政党は
無境界
ボーダーレスの時代を迎えていた。(新聞)

不況から抜け出せない時代を象徴した芥川賞、脱境界が進む多民族
社会を描いた直木賞と、それぞれに現代に生きる人間を切り取った作品だ。
(新聞)

意味説明

境界が薄れて存在しなくなること。また、そうなった様子。

手引き

- 境界がなくなった様子をいう場合は「無境界」、境界の意識が弱くなること
がらをいう場合は「脱境界」と言い換えるのが、望ましい。
- 「ボーダーレスな」「ボーダーレスの」の場合は、「境界のない」と言い換える
こともできる。
- 国と国の境界をいう場合は、「無国境」「脱国境」「国境なし」などと言い換
えるのも分かりやすい。

その他の言い換え語例

境界なし 無国境

複合語例

ボーダーレス化 = 無境界化

○ポテンシャル

全 体 60 歳 以 上
★★★★★ ★★★★☆

言い換え語 潜在能力

用例

学力だけで判定するのは、一見公平に見えるが、そこで問われるのは理解力であり、人間の**潜在能力**として大切な認識力が全く問われない。（新聞）

意味説明

潜在的に持っている可能性としての力

手引き

- 「成長ポテンシャル」「発展ポテンシャル」「開発ポテンシャル」「回復ポテンシャル」など、将来的展望を表す複合語の場合には「可能性」と言い換えてもよい。
- 「ポテンシャルな」の形で用いられるときは、「潜在的な」と言い換えられる。

その他の言い換え語例

可能性 潜在力 潜在的

○マーケティング

全 体 60 歳 以 上
★★★☆☆ ★★☆☆☆

言い換え語 市場戦略

用例

販売競争の激化が続く昨今の状況下にあっては、マーケティングの重要性がいわれているが（白書）

意味説明

販売拡大を目的として、市場に対して戦略的に取り組むこと

手引き

- 市場戦略に基づき行動を起こす場合は「市場活動」、市場での調査や分析を行う場合は「市場調査」「市場分析」などが適切になる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「マーケティング」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

市場活動 市場調査 市場分析

複合語例

マーケティングリサーチ = 市場調査

○マクロ

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★★★☆☆

言い換え語

巨視的

用例

巨視的
そうした人間的な見地から文化交流が行われてこそ、マクロな側面から新しい競争力のある未来文化を創造できるのではないか。（新聞）

意味説明

全体的な見地からものごとをみる様子

手引き

- 「マクロの」は「巨視的な」と言い換えることができる。
- 対語の「ミクロ」は「微視的」と言い換えられる。

複合語例

マクロ的 = 巨視的

○マネジメント

全體 60歳以上
★★★☆☆ ★★☆☆☆

言い換え語 管理 管理者

用例

内閣は人事管理権者が行うマネジメントに必要なルール等を定める。(新聞)
国営企業における党幹部と現場のマネジメントのあつれき、更には汚職の問題などを抱えている。(新聞)

意味説明

経営や運営について、組織だって管理すること。また、その人。

手引き

- 企業などの場合は「経営管理」、事業などの場合は「運営管理」と、管理のありようを詳しくして、言い換えた方が分かりやすくなることもある。
- 定着に向かっている語だと思われ、「マネジメント」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

経営管理 運営管理

複合語例

ケアマネジメント = 在宅介護支援
マネジメントシステム = 管理システム

○マルチメディア

全 体
★★★☆

60歳以上
★★☆☆

言い換え語 複合媒体

用例

さらに一步進めて、音声、データ、映像などマルチメディアを簡単に扱えるようにしたのが第3世代と呼ばれる次世代携帯電話だ。（新聞）

意味説明

音声・文字・映像など、多種類の情報を組み合わせた伝達媒体

手引き

- 双方向的で高速なデジタル情報の伝達に用いられる、コンピューターをはじめとした情報手段を指すことが多い。
- 定着に向かっている語だと思われ、「マルチメディア」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

○ミスマッチ

全 体 60 歳 以 上
★★★☆ ★★☆☆

言い換え語 不釣り合い

用例

企業の求人意欲が回復してきたとはいえ、求職者とのミスマッチが大きく、完全失業者数は十六カ月連続で増えている。（新聞）

意味説明

関係あるふたつの物事の調和が悪く、不釣り合いなこと

手引き

- 硬い文体で用いる場合は、「不適合」「不調和」などで言い換えるのが望ましい。
- 定着に向かっている語だと思われ、「ミスマッチ」をそのまま用いることにはほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

不適合 不調和

○メセナ

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

文化支援

用例

芸術家を地域社会に呼び込むメセナの手法は米国などで盛んだが、日本ではこれからの領域だけに注目される。(新聞)

意味説明

企業などによる文化や芸術の支援事業

その他の言い換え語例

文化支援事業 芸術文化支援事業

複合語例

企業メセナ = 文化支援事業

○モニタリング

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 繼続監視

用例

関係国が SO_x, NO_x 等の酸性雨原因物質の削減を進めるとともに、共同で

酸性雨や森林のモニタリング、影響の解明などに努めています。(白書)

意味説明

継続的に観測して監視すること

手引き

- 単に「監視」「観測」だけで言い換えられる場合もある。
- 「サーベイランス」が、病気や、政治経済の悪い部分を見逃さないようによく調べて監視することを言うのに対して、「モニタリング」は、変化を見逃さないように観測を続けて監視することを言う。

その他の言い換え語例

監視 観測

複合語例

モニタリングポスト = 放射線観測装置

○モラルハザード

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

倫理崩壊

用例

少年たちによる殺人事件の多発、倫理崩壊モラルハザードが叫ばれる大人社会、自己中心性の肥大化など社会病理現象があらわになっている。(新聞)

意味説明

倫理観や道徳的節度がなくなり、社会的な責任を果たさないこと

手引き

○ 本来は保険用語で、保険をかけてあるからと故意や不注意で事故を起こしてしまった危険性をいった。経済全般での倫理の欠如による行為に広がり、さらに経済以外の領域にも拡大して、使われている。

その他の言い換え語例

倫理欠如 倫理の欠如

○ユビキタス

全 体
★★☆☆☆

60歳以上

★★☆☆☆

言い換え語

時空自在

用例

無線LANとの結合などで、どこにいても高速・大容量のサービスを受けられる時空自在の環境が完成する。(新聞)

意味説明

生活環境のすべての場にコンピューターが組み込まれていて、いつでもどこでも自在に活用できる状態

手引き

- 語源はラテン語に由来し、「どこにでもある」という意味。日本語では、もっぱらコンピューターの利用環境について用いられる。
- 「ユビキタス」の概念は、現在開発途上にある技術によって理解されているため、今後の技術の動向によっては、この概念についての具体的なイメージが変わってくる可能性がある。
- 「どこにでもある」という意味を前面に出したいときは、「普遍的存在」「遍在」が適切である。なお、「遍在」は反対の意味の「偏在」と紛れやすく、注意が必要である。

その他の言い換え語例

普遍的存在 遍在

複合語例

ユビキタスコンピューティング = 時空自在処理

ユビキタスネットワーク = 時空自在接続網

ユビキタス社会 = 高度情報活用社会

○ライブラリー

全 体
★★★☆

60 歳 以 上
★★☆☆

言い換え語　図書館

用例

住宅の専門書、雑誌を集めたライブラリーも設置されている。（新聞）

意味説明

図書などの資料を収集し閲覧に供する施設

手引き

- 収藏する物が図書でない場合には、「ビデオ図書館」などのように対象を明示するか、「資料館」などと言い換えるとよい。
- 個人的な蔵書を収藏する場所を指す場合は「書庫」、図書のシリーズを指す場合は「^そう書」と言い換えられる。
- 「アーカイブ」が、記録や電子化資料を収集し保存するためのものであるのに対して、「ライブラリー」は、図書や視聴覚資料を収集し閲覧に供するためのもの。対象物や収集の目的によって、言い換え語を工夫したい。
- 定着に向かっている語だと思われ、「ライブラリー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

他の言い換え語例

資料館　書庫　^そう書

○リアルタイム

全 体 60 歳 以 上
★★★★☆ ★★★☆☆

言い換え語 即時

用例

噴火を予測する一つの手段は観測機器を増強し、火山活動にリアルタイム
に対応していくこと。（新聞）

意味説明

ふたつのことがらの間に、時間のずれがないこと

手引き

- 「リアルタイムで」の場合には、「リアルタイムで」全体を「即時に」と言い換えるか、「リアルタイム」を「同時進行」と言い換えるとよい。「リアルタイムな」は「即時の」と言い換えられる。
- 定着に向かっている語だと思われ、「リアルタイム」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし 60 歳以上では、半数以上が分からぬ語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例

同時進行

○ログイン

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆☆ ★☆☆☆☆

言い換え語

接続開始

用例

入退室管理やネットワークへのログインの認証等、実利用も進んでいる。

(白書)

意味説明

コンピューターシステムを使うための接続開始の手続き

手引き

- 接続開始のための手続き自体を指す場合には、「接続登録」と言い換えるといい。
- 対語「ログアウト」は、「接続解除」と言い換えられる。
- コンピューターを使う人にとってはある程度定着しつつある語であるが、コンピューターを使わない人には分かりにくさが残る。必要に応じて、言い換えたり説明を付与したりすることが望まれる。

他の言い換え語例

接続登録

複合語例

ログイン名 = 接続登録名

○ワークショップ

全 体 60 歳 以 上
★★☆☆ ★☆☆☆

言い換え語 研究集会

用例

公園や道路、福祉施設などの企画・設計を区民によるワークショップで話し合い（新聞）

意味説明

専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場

手引き

○ 研究の場の場合は「研究集会」、演劇など創作の場合は「創作集会」と言い換えることができる。

その他の言い換え語例

参加型講習会 創作集会

第1回 「外来語」言い換え提案

一分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫一

○外来語・外国語の問題点

近年、片仮名やローマ字で書かれた目新しい外来語・外国語が、公的な役割を担う官庁の白書や広報紙、また、日々の生活と切り離すことのできない新聞・雑誌・テレビなどで数多く使われていると指摘されています。例えば、高齢者の介護や福祉に関する広報紙の記事は、読み手であるお年寄りに配慮した表現を用いることが、本来何よりも大切にされなければならないはずです。多くの人を対象とする新聞・放送等においても、一般になじみの薄い専門用語を不注意に使わないよう十分に注意する必要があります。ところが、外来語・外国語の使用状況を見ると、読み手の分かりやすさに対する配慮よりも、書き手の使いやすさを優先しているように見受けられることがしばしばあります。

○伝え合いとしての言葉

そもそも、どんな言葉を使うのが適切かということは、話し手・書き手の意図、想定される聞き手・読み手、話題、使われる環境など、その時々のさまざまな条件によって変わります。同じ内容の話をするにしても、大人に話すときと子供に話すときとでは、使う単語、声の調子、話す速さ、文の長さなどが変わってきて当然です。また、同じ大人でも、相手がその話題に通じているかどうかによって、言葉選びや言葉遣いに自ずと違いが出てきます。円滑な伝え合いのためには、相手や場面に応じて、適切な言葉遣いが変わることにいつも留意することが大切です。このことは、私達の言葉について国語審議会がかねて提言してきた「平明で、的確で、美しく、豊かであること」を実現する具体的な努力の一つと考えます。

○分かりやすい言葉を求めて

外来語には、これまで日本になかった事物や考え方を表現する言葉として、

日本語をより豊かにするという優れた面もあります。しかしその一方で、むやみに多用すると円滑な伝え合いの障害となる面も出てきます。とりわけ官庁・報道機関など公共性の強い組織が、なじみの薄い外来語を不特定多数の人に向けて使用するとき、そこにさまざまな支障が生じることになります。これらの組織ではそうした事態を招かないよう、それぞれの指針に基づいて言い換えや注釈などの工夫を施した上で外来語を使用することが大切です。それと同時に、その指針や工夫を公共の財産として共有する方向に進んでいくことが望ましいとも考えます。

○「外来語」委員会を設置して検討を重ねてきました

以上のような認識に立って、国立国語研究所では、具体的に問題点を検討するため、昨年8月に「外来語」委員会を設置しました。委員会では、まず国の省庁の行政白書や新聞など公共性の高いものを対象として、一般に分かりにくい外来語が使われていないか、使われていればそれに換えるべき分かりやすい言葉や表現としてどんなものがあるかについて検討を重ねてきました。

委員会の目指すところは、検討結果に基づいて、個々の分かりにくい外来語に対してどのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか、また、外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に提案することにあります。そして、この委員会の提案がきっかけとなって、より多くの人々がそれぞれの立場で自らの言語生活を振り返り、日本語による伝え合いの改善・向上に積極的に取り組んでいく機会が生まれることになればと考えています。

○第1回の検討対象語について最終発表を行います

「外来語」委員会は、昨年12月に第1回の対象語とした計63語について、暫定的ながら具体的な検討結果を一度世の中に示すために中間発表を行いました。中間発表の内容については、国立国語研究所のホームページ上に全文を掲載し、電子メール、書簡、ファクシミリ等によって広く御意見等をいただくことができました。また、文化庁国語課の協力を得て、委員会で検討対象とする外来語が一般にどの程度まで理解されているのか、定着度を知るための全国的な調査を実施することができました。

最終発表では、中間発表に対していただいた御意見を十分に生かし、また、調査の結果を適切に盛り込んだ内容にすることを目指しました。その結果、具体的な言い換え語の提案まで検討を進めることができなかった1語を除き、計

62語について今回第1回の最終発表を行うこととしました。言い換え語の提案に至らなかった1語については、第2回の対象語に含めてさらに検討を重ねていく予定です。

○今後も検討結果を発表していきます

「外来語」委員会では、全国的な調査の結果に基づきながら、すでに第2回の対象語を選定して検討に着手しています。第2回については、中間発表を本年7月、最終発表を10月頃に予定しています。その後も、第3回、第4回と半年に1回程度の頻度で、中間発表、最終発表を行いたいと考えています。

資料の利用に関する留意事項

本提案の目的は、分かりにくくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫として、個々の外来語にどのような言い換え語を当てるのが最も適切であるのか、また、外来語に説明を施すとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に示すことにあります。そのため、提案する言い換え語は、可能な限り最適と考えられる一語に絞り込むことを目指しました。また、意味の説明に用いる表現は、できるだけ簡潔明瞭であることを心掛けました。

しかし、その一方で、個々の外来語にはそれぞれに固有の背景事情があり、一律に機械的な扱いができないことも事実です。例えば、語によって分かりにくさの程度には違いがあります。また、提案されている言い換え語も、それ一語で全ての場合に対応できるわけではありません。実際に個々の外来語に即した分かりやすい表現を工夫するためには、それぞれの特性をとらえた上で、きめ細かな対応を考えることが必要となります。

本提案では、個々の外来語への適切な対応を助けるために、必要に応じて手引きとなる有用な情報を提供しています。以下に掲げるのは、実際にこのような情報を活用しながら分かりやすい表現を工夫する際に、是非とも念頭においていただきたい具体的な留意事項です。

○分かりにくくい外来語とは

本提案では、分かりにくさの程度を知るための目安として、その外来語の意味が国民にどのくらい理解されているのか、すなわち語ごとの「理解度」に着目しています。国民各層に対する調査の結果から得られた理解度の数値が低ければ、その外来語は未だ定着が十分ではないと考えます。

理解度は、大きく4段階に分けて示すこととし、語ごとに星印の数で、次のように表示しています。

- ★☆☆☆ その語を理解する人が国民の4人に1人に満たない段階
- ★★☆☆ その語を理解する人が国民の2人に1人に満たない段階
- ★★★☆ その語を理解する人が国民の4人に3人に満たない段階
- ★★★★ その語を理解する人が国民の4人に3人を超える段階

★☆☆☆☆の語は、最も分かりにくくい外来語であり、公的な場面で用いることは避ける方が望ましいと考えられる語です。★★☆☆☆の語も、現状では、外来語のままで用いることは避けたい語ですが、今後、普及定着に向う可能性のある

語も含まれています。★★★☆の語は、定着に向って進行しつつあり、外来語を用いることにさほど問題のない場合も多いと思われますが、幅広い層の人に理解してもらう必要のある場合には、まだ何らかの手当てが必要な語と言えます。★★★★の語は、すでに十分に定着しており、外来語を用いることに大きな問題がない語であると考えます。

以上のうち、★☆☆☆から★★★☆までの語を、本提案では「分かりにくい外来語」として扱いますが、理解度の段階差に応じて、上に述べたような配慮が必要になってきます。

○世代による理解度の違いに配慮を

星印による理解度の表示は、「国民全体」についての情報の外に、「60歳以上」の情報を特に取り上げて示しています。国民全体として見れば定着が進んでいるかに見える語であっても、この年齢層を見ると、理解度がそれより低い段階に止まっている語が少なからず認められるからです。

これらの外来語については、伝える相手の中に高年齢層が含まれる場合には、特別の対応が必要となる場合があります。例えば、「インパクト」「ケア」「デイサービス」など、国民全体では★★★★である語でも、あえて本提案に含めたものがあるのは、この点への配慮が現段階では必要だと考えるからです。

語の理解度は、世代によるもののほか、その語の意味内容に応じて、性・職業・居住地などによっても差が認められることがあります。相手に理解されるかどうかに配慮しながら、分かりにくい外来語への対応を考えていく必要があります。

○場面により言い換え語を使い分ける工夫を

同じ外来語でも、用いられる場面によって意味合いを変えることがあります。こうした意味の広い外来語は、場面によって言い換え語を適切に使い分けることも効果的です。

例えば、「ケア」という語は、放つておけない状態にある人や物に対して手当をするという意味が基本であり、言い換え語を一つに絞り込むとすれば、「手当」などが適当だと考えられます。しかし、この意味を表す言葉には、福祉では「介護」、医療では「看護」、物に対しては「手入れ」など、より具体的な意味をもつ語も存在しています。意味が広すぎることで、あいまいになるのを避けたい場合は、文脈によって言い換え語を使い分ける工夫がむしろ必要となります。

○専門的な概念を伝える場合は説明を付け加える配慮を

日本語の中に外来語が取り入れられるとき、特定の分野で専門的に用いられることから始まる場合があります。その分野内での正確で迅速な伝え合いのためには、外来語を使うことが確かに効果的です。しかし、そうした専門性の高い語を一般の人に対してそのまま使っても、理解されるとは限りません。やさしく言い換えることができればよいのですが、言い換えることで概念があいまいになり、混乱が生じるおそれもあります。

例えば、「キャピタルゲイン」という語は、資産の売却や値上がりによる収益を指す経済の専門用語で、これを「資産益」と言い換えることも考えられます。しかし、この言い換えでは、利息や地代など資産そのものからもたらされる収益と区別できず、「キャピタルゲイン」という語で伝える必要のある概念が、十分に伝わらない心配があります。専門性をおびる外来語の概念を一般向けに伝えたい場合は、外来語を使いつつも分かりやすく説明を付け加える方法が、かえって効果的な場合もあります。

○現代社会にとって大切な概念の定着に役立つ工夫を

専門家の間で使われ始めた外来語のなかには、その語の表す概念が未だ一般にはなじみの薄いものであっても、現代社会にとっての大切な概念として、一般への普及定着が望まれているものもあります。

例えば、治療方法などにつき十分な説明を受けた上で、患者が自らの判断で同意する「インフォームドコンセント」の考え方を普及させることは、医療の現場を中心に重要性を増してきています。ところが、「インフォームドコンセント」というなじみのない外来語を用いるだけでは、重要な概念を一般に普及させることはなかなか難しいと思われます。上に述べたように、説明を付けながら外来語を用いることも一つの方法ですが、概念を広めて定着させるには、的確な語で言い換えることが最も効果的です。

本提案では、「インフォームドコンセント」の考え方を、「納得診療」という覚えやすい語で言い換えることにより、患者の納得に基づく医療行為を示す語として、一般の人々に広く普及させることができるのでないかと考えています。

委員名簿

委員長 甲斐 瞳 朗 (国立国語研究所長)
副委員長 水谷 修 (名古屋外国語大学長)
副委員長 中西 進 (帝塚山学院長)
相澤 正夫 (国立国語研究所研究開発部門長)
阿辻 哲次 (京都大学大学院人間環境学研究科教授)
倉島 節尚 (大正大学文学部教授)
神津 十月 (作家)
古賀 節子 (青山学院大学名誉教授)
輿水 優 (日本大学文理学部次長)
小森 政道 (小学館コミュニケーション編集局次長)
柴田 実 (NHK放送文化研究所用語研究班主任研究員・解説委員)
陣内 正敬 (関西学院大学総合政策学部教授)
関根 健一 (読売新聞東京本社校閲部次長)
田中 牧郎 (国立国語研究所研究開発部門第一領域主任研究員)
鳥銅 玖美子 (立教大学観光学部・異文化コミュニケーション研究科教授)
中山 恵利子 (阪南大学国際コミュニケーション学部助教授)
長谷川 真理子 (早稲田大学政治経済学部教授)
福田 亮 (朝日新聞東京本社校閲部用語幹事補佐)
松岡 和子 (翻訳家・演劇評論家)
山崎 誠 (国立国語研究所研究開発部門第一領域長)